令和５年度
学校だより
吉井小学校だより
輝くよしいっ子
８月
１日　第２４号
文責：小西貴仁

4年生がフィールドワークをしたよ!（生物多様性の学習）

７月１９日（水），四国大学の松田春菜先生をゲストティーチャーとしてお招きし，生物多様性の学習を４年生が行いました。この日は，４年生が，実際に加茂谷地区のカタツムリの生息する場所（若杉山周辺）にフィールドワークに出かけました。

フィールドワークに出かける前に，松田先生からは，「いろいろな種類のカタツムリやカタツムリの生態」についてのお話をして頂きました。

次に「カタツムリについてのクイズ」をしました。

クイズの内容は，「①カタツムリはどんな生きものの仲間ですか。」「答え：貝の仲間です。」「②カタツムリのカラは取り外すことが出来ますか。」「答え：できません。カタツムリとナメクジは似ているけれど，別の生きものです」「③カタツムリは，うんちをしますか。」「答え：うんちをします。」「④カタツムリは，どこからうんちをしますか。」「答え：カラの入口からします。」⑤「カタツムリは，生まれたときはどんな様子ですか。」「答え：たまごです。」このように，カタツムリの様子をいくつかのクイズ形式で答えていきながら，カタツムリの様子について学ぶことができました。４年生の子どもたちは，カタツムリの様子についてよく知っていました。

また，前回（７月１１日），阿南工業高等専門学校の大田先生から教えて頂いた「阿南の加茂谷地区だけでも８０種以上のカタツムリがいること」や，「加茂谷は石灰岩（サンゴ礁由来）が多い地形だからカタツムリがたくさんいる」ということについてもしっかりと答えることが出来ました。

その後，四国大学の松田先生と加茂谷へんろ道の会の横井さん，鶴岡さんと一緒に若杉山周辺のフィールドワークに出かけました。子どもたちは，加茂谷にしか生息しないカタツムリを探したり，他のカタツムリを実際に観察したりすることが出来ました。

＜松田先生のお話を聞いている様子や実際にカタツムリを探している様子＞

（４年生の子どもたちにとっては，夏休み前の充実した学習となったようでした。）